

オープンイノベーション実習 テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	将来の高齢者向けサービスのデザイン
実習責任者	デザイン学ユニット特定准教授 十河 卓司
実施協力者	パナソニック(株) エコソリューションズ社 技術本部 先進技術開発センター 安部 慎一、濱塚 太一、亀井 浩気
テーマの背景	2025年には、日本では、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になる超高齢化社会が訪れる。「介護離職」「介護難民」「特別養護老人ホームの待機者問題」など、高齢者のケアに関わる諸問題が叫ばれる中、高齢者が元気に自立し続けられる社会を構築することが求められる。例えば、昨今シニア層の健康意識は高まってきているものの、自身の健康のために自立的に行動している層は限定的であり、様々な取り組みが必要である。一方で、30～40年先には高齢者数は減少に転じるほか、医療技術やAI・ロボット技術の進化などにより、高齢者向けサービスのニーズは現在とは変化することが予想され、これらを考慮した取り組みが求められる。
実習の概要	本実習では、30～40年先の未来を想定し、将来の社会的ニーズや技術の進展、人口構成の変化などを踏まえた上で、法制度も含めた将来の高齢者のケア体制の変化、ケア施設が高齢者に提供すべきサービス、あるいは、高齢者の生活行動を変えるような、健康維持のための新しい商品やサービス等を検討する。その際、高齢者をいきいき・わくわく・元気にするには何が必要か、高齢者にとって楽しく健康維持できるようにするには何が必要か、などを考慮して検討する。
実施計画、実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・実習チーム（受講者と実習責任者）のミーティング、および協力企業とのミーティングは、原則としてデザインイノベーション拠点で実施する。 ・委員会（専門家、学生等によるワークショップ）は、デザインイノベーション拠点、吉田・桂キャンパス内の会議室等にて実施する。 ・必要に応じて、大学や企業の専門家へのヒアリングやフィールドワークを行うことがある。 <p>詳細は実施計画を参照。</p>
受講者の役割	当初の目的が達成されるよう、ワークショップのファシリテーションを含むプロジェクトのオーガナイズを適切に行う。例えば、高齢者のケアに関わる将来の社会的ニーズを検討するため、委員会メンバーの選定を工夫する（専門性、世代など）。ワークショップでは、専門家の知識を効果的に引き出したり、新しいアイデアを効率的に創出したりするためのファシリテーション方法やデザインプロセスを検討する。ワークショップ開催前の情報収集や、開催後の報告書作成なども適宜行う。
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ FBL/PBL を経験していること。 （FBL/PBL 1 と 2 の単位を取得している者。または、いずれか一方の単位を取得し、かつ、サマーデザインスクール/デザインスクール in 沖縄/香港のいずれか一つに参加している者。または、これらに相当する知識と経験を有すると認められる者。） ・ デザイン学共通科目、デザイン学領域科目の単位を取得していること。
募集人数、締切	<p>■受講者（デザイン学履修者）を募集する 2名以上、3名以下、締切：10月6日（金） 事前に指導教員に相談し、許可を得ること。 応募多数の場合には、専門分野のバランス等を考慮し決定する。</p> <p>□受講者を募集しない</p>

応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 To: takushi.sogo [at] design.kyoto-u.ac.jp Subject: OI 実習参加申込 本文: 氏名、所属、学年、メールアドレス、テーマ名称、応募の動機、その他
受講者の決定	10月11日(水)までにメールで受講の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	ブレインストーミングなど (参考文献) “デザイン学概論,” 共立出版, 2016. 堀公俊, 加藤彰, “ワークショップデザイン—知を紡ぐ対話の場づくり,” 日本経済新聞出版社, 2008. V. クーマー, “101 デザインメソッド—革新的な製品・サービスを生む「アイデアの道具箱」,” 英治出版 Wiley & Sons, 2015.
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> • 出席 3 割 (実習チームのミーティングには原則参加のこと) • 活動状況 4 割 (OI チームのマネジメントへの貢献やファシリテーションの実施状況。教員の観察による) • 最終結果の質 3 割 ※実習チーム: 受講者、実習責任者 ※OI チーム: 協力企業等のステークホルダ、委員会委員
知的財産の扱い	実習中に新たに生じたアイデアに関する知財は公知の扱いとし、Web 等で概要を公開する。その条件を前提として応募すること。
秘密情報の扱い	企業等の秘密情報は扱わない。
特記事項	

実施計画

日程	場所	実施内容
10月 日	KRP 拠点	<ul style="list-style-type: none"> • テーマの説明
～1月下旬	KRP 拠点等	<ul style="list-style-type: none"> • 期間中、2～3 回程度のワークショップ (WS) を開催する。 • 各 WS の開催前に主に WS のプログラムについて、WS 終了後には振り返りと次回 WS の方針について、ミーティングを行う。したがって、目安として 5～10 回程度のミーティングを行う。日程は受講者の都合を考慮して決定する。 • ミーティングのほか、委員の調整、WS のプログラムの立案、各種調査などの作業を各自で行う。
2月上旬	KRP 拠点	<ul style="list-style-type: none"> • 報告書の作成、提出 • 最終報告会